

泌尿紀要
Acta Urol. Jpn.

Vol. 33, No. 2 ACTA UROLOGICA JAPONICA February 1987

泌尿器科紀要

第33巻 第2号 1987年2月

| | | |
|--|----------|-----|
| 女性脊髄損傷患者の尿路管理に関する考察 —28症例の検討— | 百瀬 均・ほか | 171 |
| 子宮悪性腫瘍の治療前泌尿器科検査における臨床的検討 | 由井 康雄・ほか | 177 |
| ヨード造影剤の副作用 | 米田 勝紀・ほか | 183 |
| 無精子症における染色体異常の検討 | 堀 夏樹・ほか | 187 |
| 染色体異常をとまなう男性不妊 第2報: XX-male 症候群 | 羽間 稔・ほか | 193 |
| BBN ラット膀胱癌における膀胱部分切除術の影響 | 青田 泰博 | 204 |
| 泌尿器科腫瘍の鑑別診断および staging における MRI の意義: 特に CT との比較を中心として | 西村 一男・ほか | 210 |
| 大森赤十字病院泌尿器科における入院・手術統計 (1981年1月~1985年12月) | 池本 庸・ほか | 219 |
| 非機能性副腎腫瘍の3例 | 石井 徳味・ほか | 223 |
| 腎平滑筋腫の1例 | 小田島邦男・ほか | 229 |
| 術中超音波診断が有用であった腎結石手術例 | 菅田 敏明・ほか | 233 |
| 出生後早期より尿路管理を行ない VUR の消失をみた 二分脊椎の1例 | 山本 雅司・ほか | 237 |
| 気腫性腎盂腎炎の2例 —治療法の選択についての考察— | 村中 幸二・ほか | 243 |
| 右心房内腫瘍血栓摘出術を行なった腎細胞癌の1例 | 田畑 尚一・ほか | 251 |
| 成人 Wilms 腫瘍の1例 | 元井 勇・ほか | 259 |
| 尿管コレステアトーマの1例 | 山中 望・ほか | 265 |
| 膀胱腫瘍を合併した Werner 症候群の1例 | 有馬 公伸・ほか | 269 |
| 広汎子宮全摘術後に発生した再発性膀胱結石の1例 | 北村 浩二・ほか | 275 |
| 原発性女子尿道腺癌の2例 | 堀内 晋・ほか | 281 |
| 停留辜丸に合併した辜丸回転症の1例 | 岡野 学・ほか | 285 |
| Latamoxef の前立腺および膀胱粘膜組織移行に関する検討 | 中田 康信・ほか | 289 |
| 泌尿器系腫瘍特に膀胱腫瘍に対する術後補助化学療法剤としての Carmofur (ミフロール®) の効果について | 西尾 正一・ほか | 295 |
| 非淋菌性尿道炎に対するエノキサシンの使用経験 | 中野 悦次・ほか | 305 |
| 経口抗菌剤 Ofloxacin (Tarivid®) の再評価 —急性単純性膀胱炎に対する 300 mg, 600 mg 投与の比較— | 坂下 茂夫・ほか | 311 |
| 神経性頻尿や膀胱刺激症状に対する塩酸テロジリンの臨床効果 | 米山 威久・ほか | 319 |

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto Japan 606
京都大学医学部泌尿器科学教室

購読要項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料8,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部宛、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投稿規定 (1986年1月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
 2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文5頁(400字×20枚程度)、図(Fig.)10枚、表(Table)10枚までとする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書(ワープロ可)、当用漢字、現代かなづかい、平かなとし、清書する。年号は西暦とする。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプ(手書き不可)する。
 - (i) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名、著者名の順に和文で併記する。下段に筆頭著者名と、2語からなる running title を付す。
例：山田・ほか：前立腺がん・PSAP
 - (ii) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、主任名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文の順にB5版ダブルスペースでタイプし、別にその和訳をつける。
 - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、主任名、Key words(和文に準ず)、running title(和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録の順に記した和文抄録を付す
 - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, $^{\circ}$ C などとする。
 - (5) 和文、英文原稿を問わず図、表、写真などは各々台紙に添付し、それらに対する説明文は別紙に一括して Fig. 1 ..., Fig. 2 ..., Table 3 ... などと記載する。説明文は英文が望ましい。原稿右欄外に挿入するべき位置を明示する。写真はトリ
 3. 掲載
 - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
 - (2) 紙代、印刷費、製本代は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後に行なう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などに関する研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
 4. 別刷：実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

| | | |
|----------|------|--|
| 宮崎 重 | 新谷 浩 | |
| 吉田 修(主幹) | | |
- ミングし、図・表は誤りのないことを確認のうえ、トレースして紙焼したものが望ましい(コピー不可)。様式については本誌の図・表を参照する。
- (6) 引用文献は必要最少限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。
(例：山田^{1,2,7)}、田中ら^{1,3-10)}によると)
雑誌の場合—著者名(全員)：題名、雑誌名
巻：最初頁～最終頁、発行年
単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
- (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
- (8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
- (9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部が行なう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。